

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月11日

協議会名:黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 桜井交通(株)	運行系統名 ・愛本本線 運行区間 ・愛本新下区公民館～イラッセ ・通勤ターによる定時定路線運行 ・平日のみ運行	<ul style="list-style-type: none"> ・利用促進策(時刻表・ニュースレターの配布、回数券の販売)を実施した。 ・愛本連絡線の予約制化に伴う地元住民による利用促進の取組を実施した。 ・新型コロナウイルスの流行に伴い、間仕切りやアルコールの設置等の感染症対策を実施し、利用者が安全に利用できるよう努めた。 ・運行事業者間でのワークショップを実施し、利用者の増加に向けた課題の整理や、課題の解決に向けた取組について検討を行っている。 	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B (1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数 令和3年度目標値: 190,000人 令和3年度実績値: 123,861人 (参考) 当該系統利用者数 令和2年度:2,797人 令和3年度:2,793人 (2)公共交通利用圏域内町内会人口率(交通空白地域の解消) 令和3年度目標値:99.9% 令和3年度実績値:99.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができなかったが、地元住民による利用促進の取組が功を奏し当該系統の利用者数は目標値をほぼ確保することができた。 ・今後はワークショップ(実務担当者間での検討会議)におけるバス路線見直しの方向性をもとに、利用者数増加に向けた取組を行う。 ・新型コロナウイルスの影響による利用者減少を改善するため、引き続き感染症防止対策を実施する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月11日

協議会名:黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 桜井交通(株)	運行系統名 ・石田三日市線 運行区間 ・にいかわ総合支援学校～黒部市役所 ・黒部市役所～黒部市役所 ・通勤ターによる定時定路線型運行 ・平日のみ運行	・利用促進策(時刻表・ニュースレターの配布、回数券の販売)を実施した。 ・新型コロナウイルスの流行に伴い、間仕切りやアルコールの設置等の感染症対策を実施し、利用者が安全に利用できるよう努めた。 ・昨年度の二次評価の結果にもあったように、利用者数が減少している状況を鑑みて、運行事業者間でのワークショップを実施し、利用者数増加に向けた取組だけでなく、バス路線見直しや運行手法の変更等の持続可能な運行に向けた取組について検討を行っている。 ・また、事業者とは、具体的なバス停配置、ブランディング等、集客力向上に向けて検討した。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B (1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数 令和3年度目標値: 190,000人 令和3年度実績値: 123,861人 (参考) 当該系統利用者数 令和2年度:6,588人 令和3年度:5,913人 (2)公共交通利用圏域内町内会人口率(交通空白地域の解消) 令和3年度目標値:99.9% 令和3年度実績値:99.9%	・コロナ禍の中で市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができず、当該系統の利用者数も減少している。 ・今後はワークショップ(実務担当者間での検討会議)におけるバス路線見直しの方向性をもとに、利用者数増加に向けた取組を行う。 ・また、石田三日市線経路に開業する大型商業施設や道の駅に合わせ、新規利用者の確保を図るほか、必要であればルート変更等の検討を行う。 ・新型コロナウイルスの影響による利用者減少を改善するため、引き続き感染症防止対策を実施する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月11日

協議会名:黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 くろべ交通(株)	運行系統名 ・田家野ー中山エリア 運行区間 ・田家地区～三日市地区 ・予約型デマンドタクシーとして運行 ・月・水・金に運行	・地域住民と協議を行いながら、利用促進策(時刻表・ニュースレターの配布、回数券の販売、出前講座の開催)を実施した。 ・新型コロナウイルスの流行に伴い、間仕切りやアルコールの設置等の感染症対策を実施し、利用者が安全に利用できるよう努めた。 ・昨年度の二次評価の結果を受けて、持続可能な運行形態の確立に向け、路線の最適化を含めた検討を行った。また、事業者とは、接客方法やブランディング等、集客力向上に向けて検討した。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B (1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数 令和3年度目標値:190,000人 令和3年度実績値:123,861人 (参考) 当該系統利用者数 令和2年度:373人 令和3年度:583人 (2)公共交通利用圏域内町内会人口率(交通空白地域の解消) 令和3年度目標値:99.9% 令和3年度実績値:99.9%	・コロナ禍の中で市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができなかったが、地元住民による利用促進の取組等が功を奏し当該系統の利用者数は増加しているため、引き続き、地域住民との協議やワークショップ等により利用者数増加を持続するための取組を進める。 ・新型コロナウイルスの影響による利用者減少を改善するため、引き続き感染症防止対策を実施する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月11日

協議会名:黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 くろべ交通(株)	運行系統名 前沢－宮野エリア 運行区間 ・前沢地区～三日市地区 ・予約型デマンドタクシーとして運行 ・月・水・金に運行	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と協議を行いながら、利用促進策(時刻表・ニュースレターの配布、回数券の販売、出前講座の開催)を実施した。 ・新型コロナウイルスの流行に伴い、間仕切りやアルコールの設置等の感染症対策を実施し、利用者が安全に利用できるよう努めた。 ・持続可能な運行形態の確立に向け、路線の最適化を含めた検討を行った。また、事業者とは、接客方法やブランディング等、集客力向上に向けて検討した。 	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B (1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数 令和3年度目標値: 190,000人 令和3年度実績値: 123,861人 (参考) 当該系統利用者数 令和2年度:799人 令和3年度:1,009人 (2)公共交通利用圏内町内会人口率(交通空白地域の解消) 令和3年度目標値:99.9% 令和3年度実績値:99.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができなかったが、地元住民による利用促進の取組等が功を奏し当該系統の利用者数は増加しているため、引き続き、地域住民との協議やワークショップ等により利用者数増加を持続するための取組を進める。 ・新型コロナウイルスの影響による利用者減少を改善するため、引き続き感染症防止対策を実施する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月11日

協議会名:黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 くろべ交通(株)	運行系統名 ・村椿・大布施地区 運行区間 ・村椿・大布施地区～三日市地区 ・予約型デマンドタクシーとして運行 ・火・木・土に運行	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と協議を行いながら、利用促進策(時刻表・ニューズレターの配布、回数券の販売、出前講座の開催)を実施した。 ・新型コロナウイルスの流行に伴い、間仕切りやアルコールの設置等の感染症対策を実施し、利用者が安全に利用できるよう努めた。 ・昨年度の二次評価の結果を受けて、持続可能な運行形態の確立に向け、路線の最適化を含めた検討を行った。また、事業者とは、接客方法やプランディング等、集客力向上に向けて検討した。 	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B (1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数 令和3年度目標値: 190,000人 令和3年度実績値: 123,861人 (参考) 当該系統利用者数 令和2年度:969人 令和3年度:789人 (2)公共交通利用圏域内町内会人口率(交通空白地域の解消) 令和3年度目標値:99.9% 令和3年度実績値:99.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができず、当該系統の利用者数も減少している。 ・なお、当該系統の利用者数の減少は、隣接地区の大型商業施設の開業が主要因であると考えられる。 ・このため、地域住民との協議やワークショップ等により、持続可能な運行形態について検討を進めるほか、利用促進策のより一層強化を図る。 ・新型コロナウイルスの影響による利用者減少を改善するため、引き続き感染症防止対策を実施する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月11日

協議会名:黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 くろべ交通(株)	運行系統名 ・荻生地区 運行区間 ・荻生地区～三日市地区 ・予約型デマンドタクシーとして運行 ・火・木・土に運行	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と協議を行いながら、利用促進策(時刻表・ニュースレターの配布、回数券の販売、出前講座の開催)を実施した。 ・新型コロナウイルスの流行に伴い、間仕切りやアルコールの設置等の感染症対策を実施し、利用者が安全に利用できるよう努めた。 ・昨年度の二次評価の結果を受けて、持続可能な運行形態の確立に向け、路線の最適化を含めた検討を行った。また、事業者とは、接客方法やプランディング等、集客力向上に向けて検討した。 	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B (1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数 令和3年度目標値: 190,000人 令和3年度実績値: 123,861人 (参考) 当該系統利用者数 令和2年度:462人 令和3年度:421人 (2)公共交通利用圏内町内会人口率(交通空白地域の解消) 令和3年度目標値:99.9% 令和3年度実績値:99.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができず、当該系統の利用者数も減少している ・このため、地域住民との協議やワークショップ等により、持続可能な運行形態について検討を進めるほか、利用促進策のより一層強化を図る。 ・新型コロナウイルスの影響による利用者減少を改善するため、引き続き感染症防止対策を実施する。